

公表

第31回技能グランプリ全国大会「和裁」職種採点基準

	採 点 項 目	配点
1	袖口・口下・丸み・袖丈・袖巾・振り	10点
2	袖付け・身八つ口・衿のつりあい	10点
3	上前のおくみ付け（模様合わせ）	10点
4	表・裏直線縫い 身巾のつり合い	10点
5	身頃の立てとじ かぶり	10点
6	つま・裾ぶき	10点
7	つま下	10点
8	表衿つけ・共衿つけ	10点
9	裏衿つけ・衿とじ	10点
10	衿くけ・衿先	10点

- * 以上10項目を採点
- * 1次審査の結果、上位10～15点を選ぶ（参加点数による）
- * 2次審査により順位決定
- * 同点の場合は、競技委員の協議により決定
- * 入針の場合は失格・白針は1箇所につき1点減点
- * 未完成品は採点しない。

競技について

日本の伝統的な衣装であり、現代でも多くの日本人に親しまれている和服。本職種は、その和服を製作するもの。競技では女物衿（あわせ）長着を縫製し、技を競う。生地は事前に渡し下準備を自宅で行い、会場で仕上げまでをする。

審査の重要なポイントは、表地と裏地を合わせるところ。厚さや伸びが違う2種類の生地を微妙な釣り合いで縫い合わせていかなければならない。各選手の技術力の差が最も出る部分である。全体の縫い目がまっすぐであることは当然で、直線縫いが歪んでいるようでは、縫い合わせもうまくいかない。

このほかコテ光り、焼けこげ、しみ等は、減点の対象となるので注意が必要。